

“子育て理想郷”を目指して

～子育てを楽しめる街、子育てしやすい街へ～

座談会



平成15年から5年間の三島市の合計特殊出生率は1.36。そのため市では近年、少子化対策に力を入れている。子育てが楽しめる街、子育てがしやすい街を目指して——。今回は豊岡市長を囲んで4人のパパママ市民に、三島市の子育てについて語ってもらった。



豊岡武士市長

乳幼児に対する支援環境

市長 私にも成人した娘が2人いますが、子どもはあつという間に大きくなるもの。皆さんには、今のうちに子育てを楽しんでいただきたいし、そのために、三島を子育てしやすい街にしたいと思っています。三島市で子育てして良かったと思うことはありますか？

露木 私は以前、別の市に住んでいたのですが、三島に来て一番驚いたのは、未就学児の医療費が無料であることでした。冬などは病気にかかることが多かったので、本当に助かっています。欲を言えば、小・中学校まで延ばしてもらえればと思いますが、でも通院は1回500円、入院は無料なのでありがたいです。



露木伸哉さん
公務員・2児の父
三島市在住歴2年

井村 3カ月の

赤ちゃんに絵本などをいただける「ブックスター」がとても良かったですね。また、本町にある「子育て支援センター」も娘が小さな頃にはとてもお世話になりました。幼稚園に上がってから、時折行く先生たちが声をかけてくれるんです。他市の施設も使いますが、あそこまで面倒を見てくださるところはあまりない。非常にいい環境です。

金並 我が家は2年前に三島に引っ越してきたのですが、やはり源兵衛川など、市内を流れているせせらぎの水がすごく冷たくて、きれいな方がいいなと感じました。それから富士山が身近に見える。これが他県から移り住んだ者にとっては一番印象的だと思います。

歩いて暮らせる街を目指して

松村 先日、中郷温水池に初めて行ったのですが、とても良かったです。本場に穏やかな水の流れて、カモもいたりして。この街の良さがわかる場所ですね。その時は自転車で行ったのですが、車で巡る三島と、歩いて巡る三島、自転車で巡る三島と、また趣が違います。だから、歩いて行ったらこんなところがあるとか、自転車ならここまでいけるとか、駐輪場や駐車場はここにある、とわかるようなマップがあるといいですね。

市長 中郷温水池や白滝公園、菰池などは、今後もっと整備していきたいと思っています。これは来年度の構想なのですが、「歩いて暮らせる街、楽しく歩ける街」という方向で考えています。



井村友昭さん
会社員・1児の父
三島市在住歴10年

車いすの方が歩きやすい街づくりのため「歩車共存」の考えを取り入れた独自の基準の道路

ます。そうすれば、あちこち歩きたい人が、富士山やせせらぎ、花や緑を見たりして、楽しめる街になると思うのです。

露木 妻とよく話しているのですが、ベビーカーを押して歩くのには、歩道に段差が多いことが気になります。歩道の段差がないところでも、歩道に電柱があるため一度車道に出なければならぬところが結構あるので、そこが何とか改善されるといいのですが……。

市長 三嶋大社横の「三島一掃野線」も、やっと来年度から歩道を平らにする工事に取っかかりることになりました。また、三島市が進めている「スマートウエルネスシティ構想」にふさわしい、もっと歩行者や

message



宮西 達也さん

子ども時代のこととはとても大切です。お母さんにギューッと抱きしめられたこと、お父さんに褒められたこと、朝早く起きて、朝露にぬれた花を見て、きれいだなあと感動した気持ち。子ども時代のうれしかったことや、感動したこと：それらがその子どもたちの将来を決めてしまう、と言っても過言ではありません。

勉強も大切だと思います。その子に合った学力はちゃんとつけてあげたい。ただ、目に見えるテストの点と同じくらい、いや、それ以上に、目に見えない、やさしさ、思いやり、うれしかったこと、悲しかったこと、感動：それが、大事だということ。感動：それが、大事だということ。今、子どもたちがやさしさや思いやりで満ちた心豊かな子に育ってほしいです。

プロフィール／絵本作家、昭和31年静岡県生まれ、日本芸術学部美術学科卒業後、人形美術グラフィックデザイナーを経て絵本作家となる。三島市在住。平成24年「ふじさんファミリー」100冊を三島市に寄贈。著書「おまじない」(金の星社)「ふじさんファミリー」(金の星社)ほか多数。

message



佐々木 常夫さん

私の書いた「ビッグツリー」という本のタイトルは、大きな木、すなわち家族の中心にいる父親のこと、雨の日も風の日も大地に根を張って家族を支えるという意味です。そうした幹があるから枝葉——子どももしっかり育っていきます。

ビッグツリーは父親でも母親でもありません。子どもが健やかに育つことで、その親も自分の幸せを掴んでいくのです。

プロフィール／東レ経営研究所特別顧問、横浜市在住。著書「ビッグツリー」(働く君に贈る25の言葉)などWAVE出版。「私の会社立場は、三島駅のすぐ前であり、しばしば三島を訪れます。東レ経営研究所の教育研修所も三島にあり、いわばここは私のホームグラウンドです」

子育て世代の皆さんへ